

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションスタイリング・コーディネート Fashion Styling・Coordination		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッション関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションアドバイザー				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
立川 笑子	非常勤講師室	授業中に指示する	授業中に指示します	
授業の概要				
人と物のマッチング「似合う」ということを、色・形・素材・内面から学びスタイリング提案のメゾットとして考え、Styling Mapを学ぶ。また、「なぜ似合うのか」「なぜ似合わないのか」を論理的に分析・分類し言葉できちんと説明できる知識を得る。				
授業の目標				
①5種類の分析・分類をできるようにする。 ②パーソナルStyling Mapを製作できるようにする。				
授業の方法				
講義、Styling Map製作				
学習の成果（学習成果）				
①パーソナルStyling Mapを製作できる。 ②「なぜ似合うのか」「なぜ似合わないのか」を言葉できちんと説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の進め方、評価方法など）、セルフチェック			
第2回目	Styling Mapの基本（レポート課題の説明）			
第3回目	「物の色」の分析・分類			
第4回目	「物の色」の分析・分類			
第5回目	「人の色」の分析・分類			
第6回目	「人の色」の分析・分類			

第7回目	「物の形」の分析・分類
第8回目	「物の形」の分析・分類
第9回目	「物の素材」の分析・分類
第10回目	「物の素材」の分析・分類
第11回目	「内面（思考・言動）」の分析・分類
第12回目	「内面（思考・言動）」の分析・分類
第13回目	Styling Map製作①
第14回目	Styling Map製作②
第15回目	まとめ・Styling Map発表（レポート提出）

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	遅刻・欠席がなく積極的に授業に参加しスケジュール通りに製作できるか。
レポート	40%	Styling Mapを理解し製作できているか。 (S基準創意工夫し製作しているか)
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	30%	「なぜ似合うのか」「なぜ似合わないのか」をきちんと説明できているか。
その他		

教科書と参考図書

教科書 : なし（必要に応じて資料を用意する）
 参考図書 : Styling Map検定テキスト（祥伝社）

履修上の留意点・ルール

欠席、遅刻は原則認めない。忘れ物も減点の対象となる。
 授業内の製作材料（ブックの材料）は自己負担。